

# 密着！

## あしかがしぎかい

# 議員定数について考えてみよう! Vol.5

Vol.1~4は  
コチラ



公民館で開催した議会報告会・意見交換会  
定数について検討している議会改革推進協議会

「しぎかい広場2024」と  
での議論の経過をご紹介します。

### 議会報告会・意見交換会

# しぎかい広場2024

in 公民館



7/18 北郷公民館  
(北中学校区)



7/19 助戸公民館  
(第三中学校区)



7/25 足利市役所  
(第一中学校区)



7/26 足利市役所  
(第二中学校区)

令和7年1~2月は  
協和中、毛野中、  
富田中、西中の各学  
校区での開催を予定  
しています。



今後の  
開催予定は  
コチラ



### 議会改革推進協議会での議論の経過をご紹介します

議会改革推進協議会では「議員定数の適正数」を議論しています(現在は定数24人)。これまで、計13回の理事会で、5つの視点から検討を重ねてきました。

委員会での  
討議性・専門性を  
確保するには?

住民代表性を  
確保する  
ためには?

類似都市・  
近隣自治体との  
比較では?

議会費から  
考えると?

市民意見から  
考えると?

これらを総合的に検討した各会派の「議員定数の適正数」は以下のとおりです。

#### 自民プラス

適正数:22人(2人減)

会派内では、議会機能強化や市民の声を広く反映するためには24人とする意見と、人口減少に伴う財政状況の悪化を踏まえた大幅削減の意見もありましたが、慎重に議論を重ねた結果、2人削減の22人の結論に至りました。

理由として、市内小学校数や地区自治会長連合会数が22であることから地域の特性を維持するには相応の数が必要であることや委員会での議論を深めるためには最低7人が必要であり、そこに議長を加え22人とする事としました。また、少数にしても必ずしも精鋭にはならないため、今後の議会機能強化の取り組みを考えると急激な削減は機能低下に繋がります。なお、削減に併せて業務効率化や事業精査も必要となります。

#### あしかが自民党議員会

適正数:18人(6人減)

従来から足利市には足利市の事情があり、その事情が削減の根拠にならなくてはならないと考えております。2011年に4名削減してから13年が経過。人口は約15,000人減っています。また、市税の減収等、厳しい財政状況や、将来的に公共施設の建て替え等、財政支出が大きく負担となる見通しを考えれば、大幅の定数削減は市民からも理解を得られると考えます。議員自らが厳しい環境に挑戦し競争原理を働かせ身を投じる覚悟が必要だと考えます。6名削減した約半分は、なり手不足解消のための経費として充てる。厳しい人口減少社会を見据え、議会費全体の削減と、なり手不足解消を同時に行いながら、人口減少、財源不足に対応し、競争することで議会の質の向上を目指します。

#### 公明党議員会

適正数:22人(2人減)

多くの市民の声を市政につなげる事が議員の重要な役割と考えます。本市の地区自治会長連合会数及び小学校数から22人は必要であると考えました。議員の果たすべき役割の中で、様々な議案が付託される3常任委員会プラス議員の活動をガラス張りにする広報広聴常任委員会等、質の高いものを継続運営するためには一定の人数は必要であると考えます。また、定数を削減するだけでは議員の質の向上にはならないのではと考えました。定数を大幅に減らすことは経験値の高い現職有利、との判断で選挙に挑戦する人が減り、競争原理がかえって下がり活性化しないのではと懸念します。より多くの市民の民意を反映することが第一であると考えます。

#### 足利志士の会

適正数:22人(2人減)

平成23年を最後に定数が削減されていない一方で、人口は継続的に減少しています。平成23年当時の人口と議員定数から考えると、議員一人当たりの人口が約6,333人だったことから、これを基準に令和6年現在の人口に当てはめ、22人が妥当と考えました。人口に近い全国の自治体と比較して、特に本市の議員定数が多いというわけではありませんが、令和5年の選挙では定数削減の可否が一つの争点となっていたこと、また、現状でも定数削減を求める市民の意見が多いことから、これを全く無視することは将来の政治不信を招き、投票率の低下にも影響する考えます。

## 議員定数・なり手不足に対して、参加した皆さんからご意見をいただきました!

定数の削減は希望するが、なり手不足解消には若者が地域に魅力を感じないと難しいと思う。

定数は減らすべきと考えていたが、いろいろな意見を聞き、現状維持が良いと思った。

人口減で市の収入が減るため、市も市議会も定数削減について考えることが大切。

議員になるメリットがないのではないかと感じてしまう。議員になりたいと思えるように良いところを前に出してほしい。

どう思うかより現状を知ることが大事だと思った。

※議員定数の適正数については、議会改革推進協議会の全委員(議長を除く23人)が参加する全体会での議論を経て、最終的に決定し、議長へ答申します。  
※各会派の意見は2024年8月現在です。

各会派の  
メンバーは  
コチラ▶



議員定数の  
検討に関する  
より詳しい  
資料はコチラ▶

